

風の子保育園 園評価に対する調査結果

全体 89 家庭 未提出 0 家庭 提出率 100% (複数回答有)

令和 5 年 3 月実施

項目	質問	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	やや思わない	思わない
保育・給食	1. 保育理念（体・心・言葉・感性）の目標に沿い子どもの発達に応じた保育がされていると思いますか (保育理念については、重要事項説明書をご覧ください)	80	8	1	1	
	2. 子どもが保育園を楽しみに登園してきますか	65	20	4		
	3. お迎え時の子どもの姿から、楽しく生活していると思いますか	82	8			
	4. クラス便りから、日々の子どもの様子や気持ちなど知ることができましたか	74	14	2		
	5. 園たよりや掲示板などのお知らせはわかりやすいですか	72	15	2		
	6. 献立表やサンプル展示などで給食内容がわかりますか	83	6			
	7. 給食や手作りおやつ献立は充実していますか	82	7			
保護者との連携	8. 登園時に、子どもの様子についての確認はありますか 幼児は、生活ノートから確認されていますか	66	22	1		1
	9. お迎えの時に、園での子どもの様子などについて気軽に話を聞くことができますか	61	21	5	2	2
	10. 保護者の急な残業や不定期な業務への対応は柔軟に行われていますか（登園、降園時間など）	80	5	3	1	
	11. 保育中の発熱や病気への対応は適切ですか	81	5	3		
	12. 保育園で起きた事故、怪我に対して、園責任をもって対応していますか	80	6	3		
	13. 感染症（インフルエンザや水ぼうそうなど）や食中毒の発生状況や予防対策などについてお知らせがありますか	81	8			
	14. お子さんや保護者の要望や意見をもとに、改善が行なわれていますか	72	11	6		

(園評価に対する園の考え方について)

保護者の皆様の園評価や気づいた点については真摯に受け止め、少しずつですが工夫改善していけるよう検討していきたいと思っております。皆様のご意見を受け、職員会議で話し合いました。保護者の方からのご意見に対し、下記のように保育園の考え方をお伝えさせていただきます。

保護者の皆様には引き続き保育園へのご理解をお願いします。

保護者より

- ① ノートだけでは全体の様子は伝わるが子ども個人の様子があまりわからない。面談だけでなく先生と話せたり、ノートでのやりとりを工夫してほしい。れもん組になると先生と会う機会も話すことも様子もわからず、不安が多かった。りんご組になって改善されるか不安。せめて一週間に一回は話をしてほしい。

(園より)

★職員で話し合ったこと

・送迎時の保護者とのやり取りでは、保育士体制からクラス担任が玄関に立つのは難しく、事務室職員が玄関で対応してきました。その為、クラス担任と保護者のやり取りは、伝達事項のみになっていたのが現状でした。保護者からのご意見を受け「保護者との連携がどうだったとれるのか？」職員で話し合いました。その中では「話せる人と、そうでない人と時間帯によって差があり申し訳ない」「ノートでは保護者が聞きたいことが上手く伝わったか不安に思うこともある」「保護者の方も声を掛けづらい雰囲気だと思うので、もう少し日常的に接する機会を持ちながらコミュニケーションがとれたらいいと思う」など感じていることが出されました。特に、乳児から幼児に変わりノートから個別の子どもの姿が見えにくくなる3歳児の保護者の方に対して、子どもの姿や保育の伝え方など、丁寧な対応が不十分だったと思います。保護者との連携をどうつくっていくか保育体制を見直し、できることから改善していきたいと思っております。

★改善したこと

・朝、夕保護者の方と顔を合わせ会話したり、保護者のみなさんも声をかけやすいよう、2歳～5歳クラスの職員が毎日交代で玄関に出る体制を作り、顔を合わせて話ができるようにしていきます。

0・1歳クラスは、今までと同様個別の対応をしていきます。

連絡ノートでは、子どもの姿の伝え方や保護者の方からの悩みや相談に対して、返答の仕方を工夫していきたいと思っております。

保護者より

- ② 玄関でのお別れのシステムはなぜなのか？なぜクラスには入れないのか？

(園より)

・幼児になると、朝、子どもは「いってきます」と保護者と別れて自分で保育室に向かい、お迎えがきたら、自分であそびに区切りをつけて保護者の元に帰っていく、子どもの姿を大事にしたい思いから始まっています。玄関先の人工芝の“あそびま”からは子ども達の空間とし、子どもの主体的な生活やあそびを保障するために保護者が保育室の中に入ることを行っていません。その代わりに、年に一回保護者の方に保育室の中に入ってもらい、園での子どもの姿を見てもらう保育参加を行っています。

もう一つは駐車場問題です。旧園舎の時から常に多かった意見の一つに駐車場の問題があります。とめ方が悪い、駐車時間が長い、混雑しているなど、その都度試行錯誤を繰り返してきました。玄関から子どもを受け入れることで、駐車場の混雑は軽減されました。

保護者より

③ 親同士でのつながりが薄い。

個人情報もあると思うけれど、もう少し親のつながりを園としてどう考えているか教えてほしい。

(園より)

・コロナ禍が3年続いた中、夏祭りやバザー等の行事を通して保護者同士が顔を合わせる機会がなくなってしまっていたと思います。その中で感染予防を考えながらも「どうだったら子ども達が楽しめるか？」を一番に考えてきました。今年度はコロナ対応が変わっていく一年になっていく中で、全ての行事を元に戻していく事はできませんが、「保護者同士の交流がどのようにもてるか？」を考えていきたいと思っています。その初めとして、4歳5歳の親子遠足を企画しました。

保護者より

④ お休みの連絡手段で8:30以降だと仕事が始まってしまう何か良い方法はないかな？と思う。ニュースでバスや自家用車の置き去りが原因で事故が発生している中、保護者から連絡がない場合、園としてどう判断しているか知りたいなと感じた。

(園より)

・緊急連絡用のメールでお休みの連絡ができるようにしました。また、9:30までに連絡のないご家庭には、園より出欠確認の電話をいれるようにしています。お休みの方は、9:30までに電話またはメールで連絡をください。詳しくは4月の園だよりをご覧ください。

保護者より

⑤ クラスだよりや園だより、お知らせなどをメールやPDFなど電子化で配信してもらえるといいなと思う。感染症が多い時はできればメールで知らせてほしい。

(園より)

・必要に応じて、メール配信、玄関の掲示板に貼りだしています。
今の時点では、おたよりなどを電子化にすることは考えていません。

保護者より

⑥ 園評価が記名式なのはなぜか？

(園より)

・アンケートではなく、園評価のため記名式となっています。

保護者より

⑦ その他

駐車場が砂利よりアスファルトやコンクリートだと止めやすいと思う。

朝の送りで同じ時間に渋滞してしまうので対策があるといいなと思う。

(園より)

・駐車場は、借地のためコンクリートなどに整備することができません。

渋滞に関しては、朝8時半前後、夕方16時半前後は混み合うため職員も誘導に立ち送迎がスムーズに行えるようにしていきたいと思っています。保護者の皆様にも、混雑している時は、すみやかに車を移動して頂けるようご協力をよろしくお願いします。

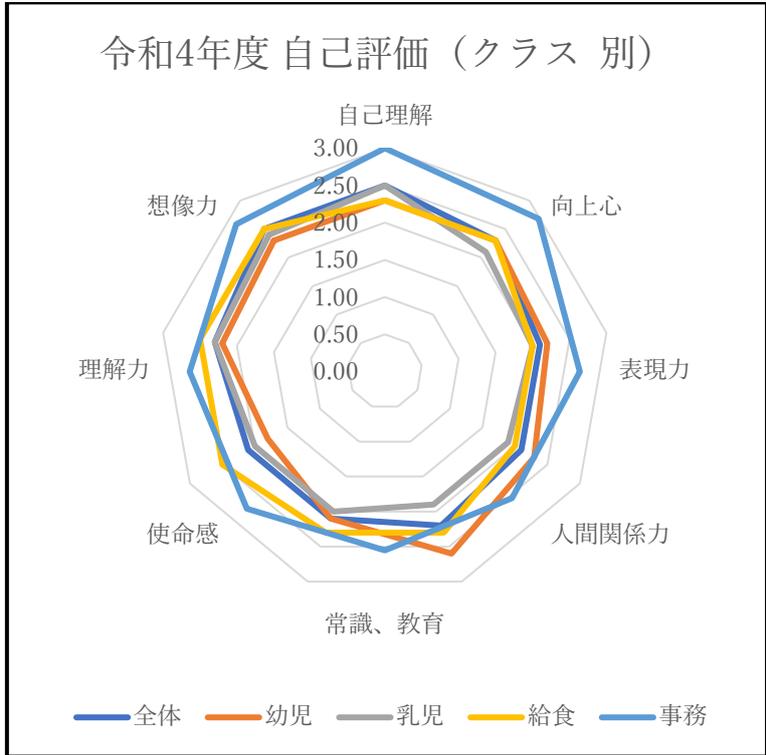
令和4年度 風の子保育園 自己評価

評価点		1：努力が必要 2：ほぼできている 3：よくできている	園平均
評価指標		達成内容	
人間性	自己理解	自分の性格の特徴に関心を持ち、理解することができる	2.64
		自分の行動を客観的に分析し、行動の特徴を理解することができる	2.36
	向上心	自分のやるべきことの方向性や目標を設定できる	2.23
社会性	表現力	自分の気持ち（感じたことや考えたこと）を的確に把握し、表現することができる	2.05
	人間関係力	他者の気持ちを理解することができる	2.18
		他者と積極的に関わり、協力して活動することができる（協同的活動）	2.23
	常識、教育	社会状況に興味や関心を持ち、考えを深めることができる	2.05
		社会人としての常識や教養を理解し、それを身につけることができる	2.14
専門性	使命感	仕事に熱意を持ち、自分の役割を理解することができる	2.55
		仕事に必要となる姿勢や態度を持つことができる	2.41
	理解力	子どもの発達に関する知識を元に、内面をくみ取ることができる	1.82
		特別に支援を必要とする子どもを理解することができる	1.77
	想像力	具体的な仕事への構想や計画を考えることができる	1.82
		自己評価や課題を見出すことができる	2.27
	実践力	子どもや保護者と関わるために、必要な知識や技術を修得し、それを実践することができる	1.82
		実践的な仕事に対する技能を身につけることができる	1.86

(総評)

- ・「人間性」では、ひとり一人が自分自身を捉え、自己理解が高まっているように思います。自己理解をし、「～だから～しよう」と自分自身の意識を高めることで、やるべきことの方向性や目標設定を明確にしていきます。
- ・「社会性」では、若い職員の表現力や人間関係力の評価の低さが見られます。自分の思いや考えを言語化できることで、人間関係力にも繋がっていくと思うので、若い職員が集団の中で持てる力を発揮できる職場環境を目指します。
- ・「専門性」では、使命感の意識の高さを感じます。反面、理解力や想像力の低さが見られるため、園外・園内研修を通して子どもの発達や捉え方を学び合い、専門性を高めていきます。

令和4年度 自己評価（クラス別）



令和4年度 自己評価（年齢別）

